

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム サルビア

(ユニット名)

さくらんぼ

記入者(管理者)

氏名

水口 泰如

評価完了日

平成 19 年 7 月 20 日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>簡単明瞭で職員誰もが何時でも口に出せる理念を掲げている。 地域密着型サービスとしての原点を理念としている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>街の中心部に位置する場所にある事業所で、地域との交流にむつかしさもあるが、利用者が「あたりまえ」に地域の中で暮らせることを目指し理念が作られている。</p>		職員全員に浸透しやすい理念に変更した。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	<p>(自己評価)</p> <p>職員の採用時に必ず理念を伝えている。 職員会で理念に向かって入所者の生活ができていくケースカンファレンスを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「あたりまえ」という事業所の理念について、職員会等で話し合っておられる。</p>		<p>本年1月に管理者交代があり、新体制で取り組んでいるが『管理者の思い』と『職員の思い』が現時点では一体になっているとは決して言えない。これから時間をかけて経営者・管理者・職員が一体となって同じ目標に向かって行けるよう日々努力している。</p> <p>さらに、「地域密着型サービス」としての理念についても職員で共有できるような取り組みが期待される。</p>
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>サルビア便り(年4回発行)の中で理念の周知を行い、また、玄関や事務所等目のつく所に掲示をしている。ご家族には家族会や家族交流会・サルビア便りを活用し周知しているが、今ひとつのような気がする。</p>		ご家族には日々の対応や家族会・家族交流会に参加していただく中で徐々に浸透していくと思われるが、地域の方々と触れ合う機会が少ないため、よりいっその努力が必要である。良い方法を模索中である。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		<p>隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>(自己評価) 住宅が少なく、町内会も無く、地域との付き合いが希薄な地区ではあるが、散歩や買い物に出かけた時に近所の人たちとあいさつを交わしたりしている。また、隣の親子が遊びに来て下さったりするようになった。6月に退所された方が近所に生活されているので、訪問がてら遊びに行き交流を行っている。</p>		<p>イベント等を企画する事できっかけ掴めるとは思うが、案内状や招待状が要らないような関係『昭和30年代のご近所付き合い』を目指している。 退所された家族より入居者との交流を続けたいとの希望があるため、1~2回/月入居者と訪問し交流したい。</p>
5	3	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>(自己評価) 小学校の運動会の見学・応援に行っている。地域の敬老会は所在地に住所がないため、参加できない入居者がほとんどである。(公民館に見学の確認をさせて頂いたが断られた) 近くの高校の文化祭の見学へも出かけることができた。</p> <p>(外部評価) 散歩時、出会う方達にあいさつをされている。地域との交流する機会は、現在、少なめである。</p>		<p>当ホームの所有地ではないが同グループ所有の空地が隣接しており、地元の住民のみならず市内ボランティアグループや各種団体等に利用して頂く事により孤立することなく地域の一員としての交流ができると思う。そのために上層部との交渉を進めている。</p> <p>事業所では、歩いて行ける範囲が地域と考えておられる。普段着で地域の人との出入りができる関係を作っていきたいと考えておられた。さらに、商工会の方の協力も頂けるようになっており、今後の地域の方との交流が期待される。</p>
6		<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 推進会議のメンバーさんや相談員さんから情報をいただき検討している。</p>		<p>できることから始めるしかないが、こちらから情報収集を行い、積極的に入っていかうと思っている。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) サービス評価の意義や目的を職員会で職員に伝え、全員で自己評価に努めました。 外部評価の結果を職員に周知を行い取り組める所から改善につなぐことができるように努力している。</p> <p>(外部評価) 職員が個々に自己評価に取り組み、職員会で話し合い管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、全職員で改善に取り組んでおられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議のメンバーにはホームの現状を十分に理解していただき且つ、適切な助言を頂いている。助言を頂いた内容を職員に周知し、実践している。		
			(外部評価)		
			利用者の状態についての事例検討や職員の悩みごとについて、出席者で意見交換が行われた。		出席者の方達に事業所の役割や認知症の理解を深めていただき、さらに意見をいただけるよう取組みをすすめていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市の担当者にも運営推進会議のメンバーに加わって頂き助言を頂いている。それ以外にも困難事例の相談や入居相談など好意的に対応してくださっている。 1回/2カ月に八幡浜市GH連絡会議が開催され市や他のGHとの意見交換や質の向上に向けて話し合いを行っている。		
			(外部評価)		
			市役所の声かけもあり、市内の他の事業所の管理者が集まり交流されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在1名、社会福祉協議会と連携を取り合いながら権利擁護事業に取り組んでいる。 成年後見においては、職員も一緒に関わる事がむづかしいので、研修会があれば参加することができるようにしている。		
					研修会等に参加を行い、職員への理解にもつなげたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修会の参加や日ごろより虐待について話を行い、虐待を行わないよう気をつけている。また、職員自身も虐待がいけないことは理解している。		
					ホーム内での虐待についての勉強会を行いたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族の時間の許せる限り時間をとって丁寧に説明を行っている。特に家族の質問には納得されるまで説明を行っている。また、医療連携や利用者の状態変化により契約解除に至る場合においても、家族と相談している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員を1度/月派遣してもらい、利用者の相談にのって頂いている。利用者の立場に立った意見を頂き、運営の参考に使っている。 さくらんぼの利用者は自分の意見をしっかり言われるので参考にし反映できるように努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 1回/月個人のお便りと出納帳をご家族に送付し、近況報告を行っている。また、それまでに何かあれば必ず、電話にて連絡を行い相談により対応している。		
			(外部評価) 毎月、利用者一人ひとりの暮らしぶりや健康状態について、便り等でご家族に知らせておられる。写真も同封されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会の中で話ができる時間を設けている。面会時には家族と話せる時間を極力設け、要望を聞くようにしている。		
			(外部評価) 家族会を年に3回開催されている。ご家族からは「お世話になっています」と言われる事が多く、意見や要望を出していただくことは現在、少なめである。		家族会時に意見等を出していただけるよう働きかけを工夫し、又、事業所側からも介護について納得のいく説明に努めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 1回/月の職員会で出来る限り要望を聞くようにしている。また、少しの時間に職員に声かけを行い情報を得るように努力しているが、把握できていない可能性もある。 職員会終了後は許せる限りお茶の時間を設け、情報交換を行っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) その都度必要に応じて、柔軟に対応ができるようにしているが、困難な場合も生じる。 行事をする場合は都合のつく職員は全員参加で活動している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者の担当制を設けており、ご家族の信頼関係を築くためにも、できる限り担当職員が対応できるように情報交換を行っている。 新しい職員が入る場合も利用者きちんと紹介し利用者にホームの事を教えて頂くよう働きかけている。 (外部評価) 職員の異動時には、引継ぎをしっかりと行うこととされている。ご家族には、担当者が代わる際に、知らせておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 運営者は管理者の意見を正面から受け止め、特に人材育成については、自主研修や資格取得に向けての研修にも補助金を出す等職員の資質向上に積極的に協力してくれている。 研修会等の積極的参加を募りできるだけ希望する研修会等に参加できるようにしている。 (外部評価) 事業所では、職員の意欲を支援されており、資格の取得や研修の受講を推進されている。		さらに、今後、計画を立て実行していく予定となっていた。又、安全面・利用者の持病等について、内部研修の充実も検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			GH連絡協議会や市主催のGH連絡会に参加することで交流ができたり、互いに運営推進会議のメンバーであったり、特に近隣のGHとは十分に交流できているため互いに良い刺激になっていると思う。 昨年、夏に近くのGH主催の夏祭りに利用者数人が参加させて頂いた。		今後も他のGHとの交流事業を継続的に続けるようにしたい。
			(外部評価)		
			地域のグループホームの管理者同士で相談や意見交換を行ってられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			最低1回/月は来所し、管理者や職員の話の聞いたり、懇親会開催に当たっては費用の補助を行ってもらっている。また、ハード面においての相談には速やかに対応してもらっている。 2~3回/年親睦の場をつくり気分転換を図れる機会を作っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者には毎日のように担当部長や事務員を通してそれらの情報を上げている。また、職員の努力が報われるよう定期的に勤務評定を行い、昇給や昇格を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前には必ず本人宅(入院・入所中の方はその滞在先)を訪問し、時間をかけて話をじっくり聞くようにしているが、1回や2回の面接で信頼関係を築くということは不可能に近い。殆どの場合、信頼関係作りは入居後から始まるためじっくり時間をかけニーズを探るしかない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初回の入居相談時には遠慮もあり、ご家族もなかなか詳しい話をして下さらないことが多いが電話や面接を重ねるごとにリラックスした雰囲気作りを行ったり、1回の時間を長く取り、ご家族に在宅介護の苦労話等充分に吐き出して頂く様に努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 早急な対応が必要な相談者には、可能な限り柔軟な対応を行い、他のサービス等も考え援助を行っている。在宅が可能な場合は介護サービスの説明を行いながら、家族の想いを組むことができるように援助を行っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所前には必ずご家族の見学(できればご本人さん)をして頂き、サルビアの雰囲気を感じて頂いている。また、サルビアの説明を行いできる事・できない事・協力してほしい事等家族と相談しながら、早期に馴染む事ができるように援助を行っている。 (外部評価) 入居間もない間は、ご家族と相談し、協力を得ながら支援されている。ご家族に夜間、来訪していただいたり、電話でご本人とお話をする等ご本人が納得できるよう取り組んでおられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 10時15時のお茶の時間や昼食後のゆっくりした時間をできるだけ職員と入居者が一緒に過ごす事ができるようにし、その会話の中で教えて頂いたりしている。人生の先輩として頼れる所は頼り、また友達関係・親子関係等で楽しく生活できるように場面づくりや声かけを行っている。 (外部評価) 利用者から方言を教えていただいたり、職員が励ましてもらうようなこともある。		利用者が不安定な時には1:1で落ち着いた対応ができるように今後も取り組んでいきたい。 職員は、さらに、利用者一人ひとりとゆっくりかかわる時間を持ちたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には必ず職員が日ごろの生活を話し、家族からの思いも確認するようにつとめている。 毎月お便りを写真を入れ作成し家族に報告を行っている。遠くにいる家族にとっては、安心できると喜ばれている。また、家族からの電話があれば、必ずご本人と話して頂く様にしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には必ず職員が日ごろの生活を話し、家族からの思いも確認するようにつとめている。 毎月お便りを写真を入れ作成し家族に報告を行っている。遠くにいる家族にとっては、安心できると喜ばれている。また、家族からの電話があれば、必ずご本人と話して頂く様にしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人等が面会に来られ、帰られるときには職員が必ず声かけを行い次回へとつなげている。また、入居者が行きたい友人の所へは連絡をして一緒に過ごしてもらうこともある。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聴いたり、気の合うもの同士が居室でお茶や話したりできている。またその中へ職員が入り一緒に楽しむ事が出来る様になった。 お茶の時間は職員も一緒にゆっくりと過ごし利用者同士の関係が円滑になるよう働きかけをしている。 利用者が孤立しないように職員が声かけするようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所された方には行事の案内をしたり、ご家族には家族会や連絡協議会の役員で参加して頂く事ができるように声かけをおこなっている。 近くで退所された方の家には、入居者と一緒に訪問するようにしている。		今後も退所された方への訪問を利用者と継続していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々の関わりの中で声かけ把握に努めている。自室で過ごされている時は、職員の余裕があれば訪室し利用者と意思疎通をはかり、把握する事が出来る様に努めている。また、職員の担当制をとっているので担当の入居者には特に把握する事ができるよう努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>利用者個々について日々の身体状況、生活の様子が記録されている。</p>		<p>さらに、日々利用者とかかわる職員の気付き等についても記録していくことから、アセスメントの充実を図りたいと考えておられた。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 利用時に訪問を行い、ご本人やご家族関係者などから聞き取るようにしている。入所後は会話の中で少しずつ把握できるよう努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 利用者一人ひとりの生活リズムを理解し、できる事を声かけにて、してもらっている。また、その中で本人の全体像を把握できるように努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 職員全体で取り組むが、職員担当制も取り入れアセスメント・評価・計画に計画作成者と共に関わっている。1回/月の職員会でケースカンファレンスや対応の確認を行う。また、ケース記録・連絡ノートで回覧している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>担当の職員とご家族が話し合い、介護計画を作成されている。又、主治医の意見等も反映されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ご家族やご本人の要望を確認しながら見直しを行っている。また、状態が変化した場合は、計画の見直しを行っている。		
			(外部評価) 3ヵ月～6ヵ月毎に見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 月間記録には評価に活かす事が出来る様に個人の月間の様子をまとめるようにしている。また日々の記録には短期・長期目標を確認することができ、一日の様子を記録しケアに活かしている。 職員が休みの日は日誌で確認を行い勤務に就くようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 利用者の家族が宿泊されたり、ホームの中で一緒に食事や入浴と出来るだけ、家族の要望に応えることができるようにしている。 利用者家族の状況に応じて、通院等の支援を行い個々の満足が得ることができるよう努めている。		
			(外部評価) 県外にお住まいのご家族が居室で宿泊をされることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	1回/月さわやか相談員さんが訪問し、利用者と交流を図られている。また運営推進会議のメンバーである民生委員さん方も家族交流会に参加していただくようになっている。		青年会議所から高齢者との交流について相談を受けている。この交流事業に参加できたらと思う。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望に応じて訪問美容サービスを利用している。		訪問マッサージの利用も検討しているが、今のところ利用希望者がいない。
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ地域包括支援センターとの連携はとれていない。権利擁護においては、社会福祉協議会と連携をとっている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族が希望する主治医となっている。2医療機関は1回/2週間訪問診療をして下さっている。それ以外の主治医の場合の受診はご家族をお願いしているが、緊急時やご家族が受診に連れて行けない場合は、出来る限り職員が対応できるようにしている。利用契約時にその旨を説明し同意を得ている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医が専門医でない場合は、認知症の症状により主治医と相談を行い専門医に相談・受診が出来る様にしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しているので、何かあれば連絡を取り医療面での相談助言対応ができる体制をとっている。往診時に看護師と話情報交換ができるように心がけている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した際には何度もお見舞いに行き、病棟からの情報を得ることができるようにし、退院にむけてと努力している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族と連絡を取り合いながら意思確認を行い、主治医との連絡をとれる体制も確立している。 (外部評価) 家族会時の話し合いで、事業所での看取りを希望される方がおられ、事業所の方針を説明された。		今後週末ケアを希望される方のために、マニュアルを作成したり看取りの研修を行うなど体制を確立したい。 入居時に重度化や終末期の対応の説明が行えるよう取組みたいと考えておられた。又、職員でも話し合う機会を持ちたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人・家族に入居時に説明を行いどうしたいかを確認している。また、状況が変化した場合でも家族と連絡を取りあい援助できるようにしている。また、急変した場合でも主治医とすぐに連絡をとれる体制を確立している。 終末ケアについては24時間看護スタッフが常駐できない現状をご家族等に説明したうえで尚希望される方についてのみ主治医と相談のうえ受け入れる予定である。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 居宅支援事業者にアセスメント等の情報交換を行っている。今回、在宅に帰られた方は、近くなので入居者と訪問に行ったりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者に対して、その立場になった気持ちで声かけや丁寧な対応ができるように心がけている。個人的なことにおいては、自室や他の入居者の見えない所で援助できるように努力している。 個人情報においては、外部に漏らすことのないよう、職員会等で話している。</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>ご家族に送付する便りの文章等についても、ご家族の思いを踏まえて作成されている。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) まず、利用者に何をしたいか、どうしたいかの確認を行い援助することができるように心がけている。外出等行けない場合は理由を説明し理解して頂けるようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者自身が共同生活をしていると認識され食事やおやつの時間はフロアへ出てこられる。自室に居られる場合は、利用者に声かけに行って頂く。それ以外は、各利用者が自分なりのペースで生活されている。</p>		<p>さらに、利用者個々のその人らしい暮らしのペースを探り、支援していくような取組みが期待される。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>意見を表出しにくい利用者には、ご本人の性格や希望を把握して対応に努めておられる。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者のほとんどが、自分で更衣される。出張美容が1回/月来ているが、利用者自身でカットや毛染めを決められる。		許せるなら金額は高いが近くの美容院へ行き、気分転換を図ることができたらと思う。(家族と相談のうえ)
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に食材を切ってもらったり、調理や味付け・盛り付け・配膳・片付けをして頂いている。職員一人で食器を洗っている時には利用者から声かけして下さり一緒に洗って下さる。また、職員も同じテーブルで食べ会話を楽しむようにしている。 (外部評価) 月1回は全国の特産品を取り寄せて、珍しい食材を楽しまれている。利用者同士で「これおいしいよ。食べてみて」と促し合っておられる様子がうかがえた。		現在は、食材の宅配を利用されているが、今後は、地元の食材を使用した食事作りを考えておられた。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の希望や気分転換に買い物に行き、利用者自身が食べたい物を購入される。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄の曖昧な利用者においては、排泄パターンを把握しトイレ誘導する事でトイレでの排泄を促している。トイレが混み合う時は職員が配慮を行い使用している事を利用者に伝え待つて頂く。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 毎日入浴の確認を利用者に行い入浴して頂いているが、入浴の順番で機嫌が悪くなる利用者もおいでるので、利用者同士で順番を決めて頂いている。しかし、往診等の予定が入っている時は職員が利用者の許可を頂いて順番を決める場合もある。 夜間の入浴は職員が一人になり、事故防止を考え実施していない。		
			(外部評価) 一日2回入浴される方もおられ、入浴の順番は、利用者同士で決めておられる。1階の利用者の希望で2階ユニットで入浴されることもある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) なるべく日中は活動して頂くようにし、生活のリズムを整えるようにしている。しかし、疲れた時などは自室でくつろぐ事ができるように配慮を行っている。 夕食後は、夕涼み等でゆっくり過ごし、ホットミルクで落ち着くことが出来る様に配慮を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 花を育てるのが好きな人には朝夕の水やりや、草引きなど積極的にして頂いている。また、畑仕事の得意な人は野菜の植え方や肥料のやり方等教えて頂き一緒に頂く。		
			(外部評価) 事業所の裏の畑にはさつまいもを植えておられた。小学校の運動会を見に行かれることもある。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に行く時には自分で管理できる利用者は自分で支払いをして頂いている。 利用者の中には、ご自分で財布を持ち管理している方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			面会においでた友達には一緒に外出できる事を話し協力して頂く様にしている。また、家族と外出したり食事をされたりしている。		
			(外部評価)		
			お化粧をされ買い物に出かける方がおられた。車椅子の方も近くの喫茶店に出掛けられることもある。		利用者の状態に合わせ、数人の外出もすすめていきたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外出行事として蕁狩や花見・歴史博物館への見学など行っている。 遠方から来られた家族の方と一緒にドライブや食事に出かけられる。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			家族に許可を頂いてから、本人に電話をして頂き話をして頂く。また、手紙においては住所の代筆等を職員が行っている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも面会に来て頂き、自室でゆっくりとお話をして頂けるように、お茶を出したりしている。また、家族では宿泊される方もおり、一緒に食事もして頂いている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束を行ったことはなく、職員も拘束してはいけないことは理解している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外は鍵はかけていない。夜間自室の鍵をかけて就寝される利用者がいる。 (外部評価) 玄関にはチャイムが設置されている。利用者の状態によっては、玄関に鍵をかけるような時もある。		さらに、利用者の自由な生活を支援するための工夫について、職員で話し合いを重ねていかれることが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の動作に注意を行いながら見守り・声かけをしている。玄関に行かれる時には声かけを行い確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) なるべく利用者の負担にならないよう利用者の様子に注意を行い安全をはかれるよう、見守り・声かけを行っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書やヒヤリハット報告書を作成し何かあった時には報告記録を行っている。その際に今後の注意点も記入し回覧を行い職員で把握し、次への防止策へとつなげている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作成している。ケースカンファレンス等で実際の事例や例を通して、どう対応するかはその都度検討している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に非難訓練を実施している。消防計画のマニュアル作成している。消防署への火災通報専用電話が設置してある。 残念ながら地域の人々に協力を得る働きかけは行っていない。 (外部評価) 消防署の指導で、火災を想定した避難訓練を実施されている。		もっと地域に入り込んで密接な関係を築き、災害時に地域の協力が得られるような働きかけを行っていききたい。 今後、地震を想定した訓練を実施する予定となっていた。さらに、運営推進会議時に地域の方達にも協力をお願いする予定となっていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居相談時や入居時に当ホームの介護方針やそれに伴うリスクについて説明させて頂いている。また、心身状況に大きな変化が生じた場合にはその都度ご家族に連絡し、話し合いを行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化があれば確実に申し送りを行い、一人での判断が困難な場合は看護職又は管理者に相談を行い、主治医の指示を頂く。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) カルテに薬の一覧表を作成している。また、解らない時にはカルテに処方箋を閉じているので、いつでも確認できるようになっている。また、処方の変更になった時に確実に申し送りを行い職員が把握できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事は野菜を多くしたり、多めに水分補給をすることができるようになっている。また、運動不足にならないように声かけを行い、運動や散歩をして頂いている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、歯磨きを実施している。 歯科治療が必要な場合、往診で対応できる分においては往診ができる体制をとっている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量においては利用者の体重増加等で調整を行っている。水分摂取においても、利用者の希望によって行っている。夜間においては、ペットボトルを自室に持ち込み飲んで頂いている。 個々の摂取量に応じて盛り付けを工夫している。		
			(外部評価) 減塩のために汁物は1日に2回にされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し、消毒液やハンドソープ・ペーパータオルを使用し感染症予防に努めている。次亜塩素酸で毎日手すりの拭き消毒を行っている。職員は毎月検便検査を実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>年に一度会社より衛生面での指導を受けている。まな板や布巾は毎日消毒をおこなっている。 会社から1回/年管理指導が入っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は手すりを設け、スロープにして出入りがしやすいように工夫している。また、花壇や裏には畑を作り親しみやすくしている。郵便ポストも家庭的な物にしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手作りの座布団カバーや居室の暖簾等を作成し、ボードに季節の飾りつけを行っている。 観葉植物や花等も飾り家庭的な雰囲気を出すことができるようにしている。また、職員の家で咲いた花を飾り季節感を出す時もある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下や階段にはご家族の手作り装飾品が飾られ、ポーチ・玄関・居間には椅子やソファが設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファや勝手口側に長椅子を用意して利用者や面会者が過ごすことができる場所を確保している。縁側にも長椅子を用意して外気浴等を楽しむ事ができる。 テーブルの席も食事の時は自然と決まっているが、それ以外は気の合うもの同士が横に座り会話を楽しませられている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			出来る限り自宅に使われていた家具を持参して頂き、自宅に近い環境にするようにしている。		
			(外部評価)		
			仏壇・姿見や化粧品、テレビ・ソファが持ち込まれ、ご家族の写真も飾られている。ご家族の宿泊用のベッドがある部屋もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			24時間自動換気システムとなっているが、自宅と同じように朝の掃除の時など窓を開放し空気入れ換えをしている。冷暖房は季節感も感じられるように利用者と相談しながら調整している。 自室に臭いのある利用者においては消臭剤を使用している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			床材は滑りにくい素材にし、手すりも必要と考えられる所には取り付け自立歩行が出来る様に工夫している。浴室もバリアフリーで手すりも設置、浴槽が広すぎるが職員が工夫し浴槽台を背もたれにし足が届くようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			混乱があるときは、利用者が納得できるまで話を聞くようにしている。出来る限り、自分でできる事は、して頂く。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の周りを散歩する事ができるようになっている。利用者が自分の散歩したい時間に散歩をされている。また、玄関横にはベンチを置き花壇の花を見たり手入れをされたり、夕涼みや日向ぼっこができるようにしている。裏には畑もあり、利用者が野菜を育てている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	一人一人の性格や生活習慣を考慮し、その中で利用者の考えや気持ちを大事に思い生活できるように援助している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時15時のお茶の時間は出来る限り、職員も利用者の側に座り、会話を楽しむようにし、冗談や笑いが持てるようにしている。 昼食後は13時までは職員も一緒にフロアでくつろぐ事ができるようにしている。また、新聞やテレビで共通の話題が持てるようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床時より自分のペースで洗面され、朝食後は掃除をされる。その後は新聞を読まれたり自室で体操をされたりと、自分なりの時間を過ごされている。 しんどい時などは自ら休まれたり、居室で話をしたりとそれなりに過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ゆっくりと、関わる事により笑顔が見られたり、精神的に落ち着かれる。また、自分の思っている事を言われる。 日常生活において昔、家でしておられた事などを思い出され生き生きとされ、相談等にも熱心に聴いて下さり教えて下さる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフの人数や、その日の利用者の状況で困難な場合もあるが、なるべく一緒に外出ができるように努力はしている。 一人での外出ができないため、不服に思っている方もおられると思う。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1回/2週間に往診がある。また、状況に変化があれば主治医と連絡を取り受診または往診をして頂いている。緊急時は、救急車にて受診を行っている。 服薬も職員管理の為、飲み忘れも無く、体調の変化にも早期に気が付くことができるように目配りを行っている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望・要望は支援できるように努力はしている。不穏時は1:1で話したり、仲の良い入居者に助け舟をだしてもらったりと安心できるように対応はしている。しかし、思い込みが激しい場合は信用につながらない場合もあるが、話題を少しずつ変えていくと自然と落ち着かれる。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にはなるべく家族と話し、利用者の状況等の説明は行っている。家族の要望も確認を行い、意に沿うことが出来る様に努力し信頼関係を築くことができるように努力している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	1回/月のさわやか相談員や、近所の親子がたまに来てくださる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない	運営推進委員の中に、いつも利用するスーパーの方がおいでで、買い物時には気遣って下さるが、理解者や応援者が広がっているようには感じないが、退所されたご家族が協力支援を申し出て下さっている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の言葉で精神的に疲れることはあるが、情報交換を行ったり、続けての勤務もなく休日はゆっくりと休み気持ちの切り替えは出来ている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自由に一人で外出ができない事に対する不満や入浴の順番での不満(毎日一番に入りたい人が多い)はあるが、職員の対応に対しては、いつも良くしてもらっているという言葉が聞くことができる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会后、帰られる時の家族の感謝や安心されている言葉等で感じられる。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

『社会通念上あたりまえにできることはGHでもあたりまえにできるんだ』という観点から常に物事を考えるよう、理念に『あたりまえ』と掲げている。個性を重視し、『その人らしさ』を損なわないケアの実践を行っている。心身のレベルを落とさず、不安を解消し、利用者がやりたいようにできるホームづくりに取り組んでいる最中である。GHも施設も24時間利用者の援助を行っており、デイサービスのように週に数日数時間内容の濃いプログラムを提供し、思いっきり楽しんで頂く訳でもない。穏やかな時間の流れの中でささやかな出来事に感動できるような日々を送って頂く事を大切に考えたい。単調な生活にならないような工夫を凝らすことは勿論重要なことではあるが、『何もしない』ことの意義を考えてみることも必要でないかと思う。その生活の中で、利用者と職員がゆっくりと過ごせる時間を持つことを大切に、利用者の意向を取り入れることができるように頑張っています。